

第二世代バイオディーゼル燃料実用化共同プロジェクト

新日本石油とトヨタが共同開発をしている最先端の第二世代バイオディーゼル燃料を活用し、東京都が先導してきたディーゼル車排ガス対策の成果を損なうことなく、自動車に起因するCO₂対策の強化を実現する

原料

【植物油】

菜種、大豆、ひまわり、ココナッツ、パーム、コーンなど

【廃食油】

廃てんぷら油、消費期限切れ食用油、残飯の油脂成分など

【獣脂】

牛、豚、鶏その他の脂身など

水素化技術

【水素化精製装置】



特徴

【高濃度利用が可能】

第二世代バイオ燃料は酸化による劣化がしにくく、第一世代の上限である5%以上混ぜた軽油燃料でも既販車で利用できる。

【排ガスを悪化させない】

油脂に水素を化合させる過程で不純物が除去される第二世代バイオ燃料は化学合成軽油（GTL）と同等品であり、都が実現させた最新規制車の性能を十分発揮させる能力がある。

【多様な原料が利用可能】

獣脂や廃食油を含む多様な原料を利用できる。

第二世代バイオ燃料



東京都



第二世代バイオディーゼル燃料の開発



車両の安全性・環境性能の確保



都営バスでのデモ走行など実用化の支援

優れた環境性能と使い易さを示し、実用化につなげる